

記録写真撮影要領

写真管理（状況）

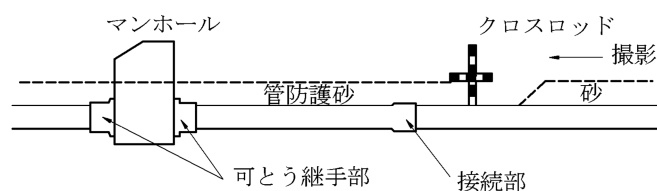
1. 施工状況

	工種	項目	撮影内容	撮影箇所
一般	着手前 着手後		全景または部分	各路線ごと。 または箇所ごと。
管渠工事	土工	舗装版破碎 (カッター工)	カッター作業 舗装版破碎状況(巾・深さ) (剥ぎ取り・積み込み)	マンホール間の施工延長 40m 未満のものは 1 箇所。40m 以上のものは 2 箇所。施工延長の短い場合については、担当者と協議。
		掘削	掘削状況(積込み状況含む) (土留が必要な場合は 1 次掘削、2 次掘削が分かるように撮影すること)	
		埋戻し	埋戻し、転圧状況 (20cm 一層ごとにする)	
		土留工	使用部材の形状・寸法 土留設置状況 打込・引抜 支保工設置状況	
		残土	残土搬出状況	
	基礎工	基礎工	設置状況 据付状況 配筋状況	
	布設及び築造工	布設工	布設状況 布設中 布設後	
		築造工	配筋、型枠設置 コンクリート打設状況	
マンホール築造工事	土工		管渠工事参照	マンホール築造の 3 箇所に 1 箇所は全工程写真とする。 (n/3+1) 基礎検測及び MH 高検測は全箇所とする。
	基礎工		設置状況	
	築造工		型枠設置及び コンクリート打設状況	
管 柵 工事 及び 取付	土工		管渠工と同じ。	柵については、(n/5+1) 箇所全工程。 配管、基礎、埋設シートについては全柵とする

	工種	項目	撮影内容	撮影箇所	留意事項
舗装工事			各層別舗装状況 転圧状況	管渠工事と同一。	出来形、品質は「土木工事施工管理基準及び規格値による
付帯工事	付帯工 試掘工		付帯施設等設置状況 試掘状況 地下水位	箇所ごと。 転圧状況は n/5箇所。	
その他	保全安全 施設工 ※事前調査		各種保安設置状況 交通整理状況 着手前の家外周囲状況	工事数箇所 家外周囲(外壁等)	

1. 下水道工事は、不可視部が多いので特に撮影時期を逸しないように注意する。

- ・ 上下流のマンホール接続箇所
(特に可とう継手状況：接着塗布、ハンマ施工)
- ・ 管防護砂検測（転圧後、水平方向から撮影）
- ・ 埋戻し（各層ごと、転圧状況、転圧後撮影）
- ・ 仮復旧では、乳剤散布写真
- ・ 試掘後、マンホールの位置変更が生じた場合は、再度着工前写真を撮影



2. 寸法確認写真は、設計値と実測値の2段書とし、測定尺の正確な寸法を表示する。

- ・ 厚み検測等は、カメラの高さに注意すること

3. 事前調査は、施工前に家屋所有者に了解を得て、周囲の状況写真を撮影すること。

写真管理（出来形）

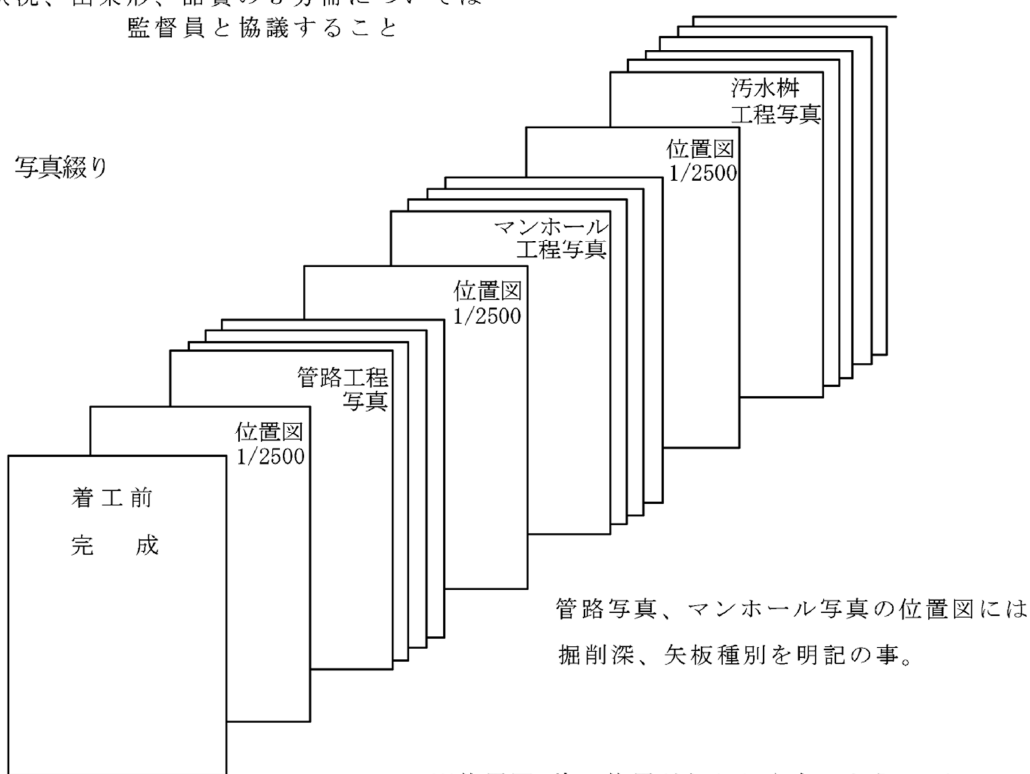
2. 出来形管理

	項目	撮影内容	撮影箇所	留意事項
管渠工	舗装版破砕	舗装版破砕（幅、厚み）	マンホール間の施工延長 40m 未満のものは 2 箇所。40m 以上のものは 3 箇所。施工延長の短い場合については、担当者と協議。	
	掘削	掘削幅・深さ		
	基礎工	幅・厚み		
	管防護工	幅・厚み		
	埋戻	幅・深さ（下がり）		
	路盤（上層・下層）	幅・深さ（下がり）		
マンホール設置工	舗装版破砕	舗装破砕（幅・厚み）	各マンホール毎に 3 箇所に 1 箇所は全工程写真とする。 $(n/3+1)$ ※基礎検測及び MH 高検測は全箇所とする。	
	掘削	掘削幅・深さ		
	基礎工	幅・厚み		
	MH 設置工	高さ		
	埋戻	深さ（下がり）		
	路盤（上層・下層）	深さ（下がり）		
取付柵及び管工事	基礎工	幅・厚み	柵については、 $(n/5+1)$ 箇所全工程 ※配管、基礎、埋設シートについては全柵とする。	
	配管	延長		
	埋設シート	延長		
	路盤（上層・下層）	深さ（下がり）		

(その他)

- 1) 塩ビ管施工の場合は、塩ビ管の基礎に木切等を絶対使用してはならない。
- 2) 取付管は、鏡を使って管内の取付状況を確認したあと埋戻すこと。
- 3) B Mの確認については、監督員の承認を得ること。特に工区が隣接している場合は、業者間で確認すること。
- 4) 造成地については、計画高と現況高を確認後、施工すること。
- 5) 試掘工については、全箇所撮ること。

※ 状況、出来形、品質の3分冊については
監督員と協議すること



※位置図:施工位置がわかりやすいように1/2500
程度の位置図
:各程度、各工程の位置図として入れる。

写真管理 管更生工

ここに、管更生工事の写真管理について、一般的な管理基準をしめす。工法により、項目が異なる場合があるので、撮影計画を作成し監督員と協議を行うこと。

1. 施工状況

工種	撮影内容	撮影箇所	留意事項
着手前 ・完成	全景または部分。上流管口、下流管口より撮影。スパンが長い場合、中間点を加える。 ※TVカメラを使用する場合は、ビデオ記録も撮影。	全路線毎 ※管口仕上げ（本管管口、取付管口）工については、それぞれの工種の巻頭につけること。	工事箇所全景として、地上部の写真も施工箇所がわかるよう撮影し添付すること。
洗浄工	洗浄作業状況	3路線に1箇所撮影を行う。 $(n/3 + 1)$	高圧洗浄車使用状況がわかる状況及びマンホール上部及び管内での作業状況。
調査工	管内状況及び事前調査に必要な項目。 ※TVカメラを使用する場合は、ビデオ記録も撮影。 調査作業状況。	必要な項目は全路線。 調査作業状況は、3路線に1箇所撮影を行う。 $(n/3 + 1)$	必要な項目について、事前処理、協議が必要な場合は詳細に撮影を行うこと。
障害物除去	除去前と除去後。施工状況。 ※管内作業車を使用する場合は、ビデオ記録も撮影。	除去前、除去後は全箇所。 作業状況は、1路線につき $(n/5 + 1)$ 箇所	管内作業車を使用する場合は、作業車がわかる状況写真も撮影する。
更生工	更生工にかかる一連の状況を撮影する。	3路線に1箇所、撮影する。 $(n/3 + 1)$	一連の項目については、監督員と協議すること。
本管管口 仕上げ工	管口仕上げ前、仕上げ後。 作業状況写真を撮影する。	管口仕上げ前、仕上げ後は全箇所。 作業状況は3路線に1路線（上下流）撮影を行う。 $(n/3 + 1) \times 2$ 箇所	状況写真については、管口仕上げ材の配合状況も撮影すること。
取付管口 仕上げ工	管口仕上げ前、仕上げ後。 作業状況写真を撮影する。 ※管内作業車を使用する場合は、ビデオ記録も撮影。	除去前、除去後は全箇所。 作業状況は、1路線につき $(n/5 + 1)$ 箇所	管内作業車を使用する場合は、作業車がわかる状況写真も撮影する。
その他	各種保安設置状況や交通整理状況等を撮影する。	工事中適宜	管理計画書に項目を記載すること。

2. 出来形管理

	工種	項目	撮影内容	撮影箇所	留意事項
更生工	更生工	更生延長	更生延長を撮影する。	全路線	
		更生厚み	更生管厚を撮影する。	全路線、上下流管口。人が入れる場合は、中間部について協議する。	測定機器の表示が読み取れるよう注意する。
		更生材料	裏込め材料等数量確認が必要な材料について撮影する。	全路線について各路線ごと。	裏込め材料は、搬入数量と使用数量がわかるようにする。

3. 品質管理

	工種	項目	撮影内容	撮影箇所	留意事項
更生工	更生材料	搬入状況 (材料検収)	更生材を、出荷証明書(材料証明書)とそれにかかる材料がわかるよう撮影する。	材料ごとすべて	
		保管状況	品質を保持する保管状況を撮影する。	材料ごとすべて	
		施工中・後	品質検査状況を撮影する。	品質検査を行うものの全て	
	施工	施工管理	管理状況を撮影する。	全路線	